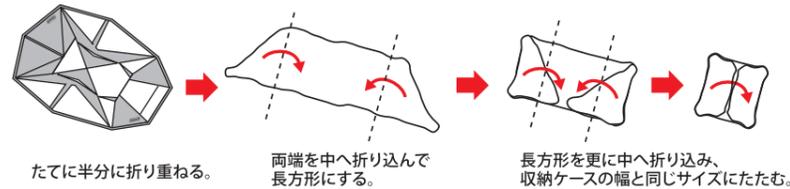


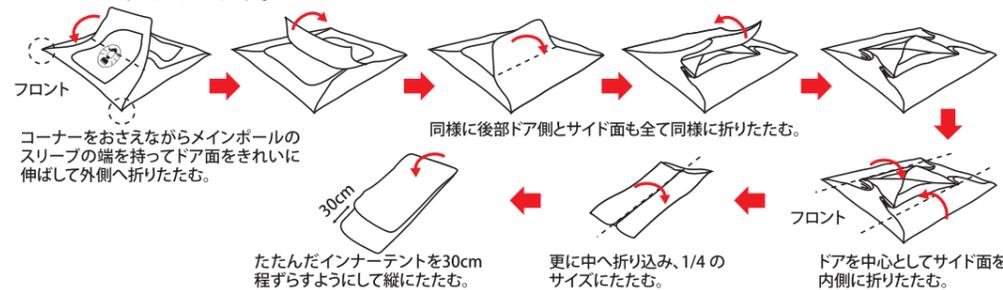
# 撤収手順

**STEP 1** ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

**注意** テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



**STEP 2** 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



**注意** 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。

**STEP 3** ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



**注意** ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均等にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

# SCREEN CANOPY DOME / 300

[スクリーンキャノピードーム / 300]

## 取扱い・組立て説明書



コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先  
コールマンカスタマーサービス：0120-111-957  
受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

## 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

## 収納・管理の注意

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因になります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

## 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●フライシート	1張	[フライシート]
●インナーテント	1張	
●ルーフポール(グレー)	2本	[ルーフポール]
●コーナーポール(スチール/グリーン)	4本	
●リッジポール(ブラック)	1本	[リッジポール]
●クロスリッジポール(イエロー)	1本	
●フロントポール(レッド)	1本	[フロントポール]
●キャンピーポール(スチール/グリーン)	2本	
●ロープ	8本	[ロープ]
●ブラペグ	6本	
●スチールペグ	13本	[ペグ]
●ハンマー	1ヶ	

### 完成図



### [インナーテント]



### [バック側]

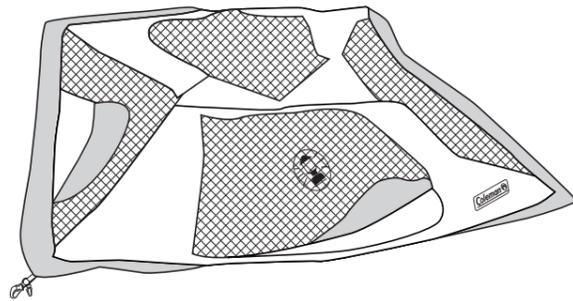


※設営時のポイント  
本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

# 設 営 手 順

## I インナーテントを広げる

**STEP 1** インナーテントを広げます。コールマンロゴおよびメッシュドアにランタンマークのあるほうがフロント側になります。空気が入りやすいように、あらかじめ前後のドアのファスナーを一部開けておきます。

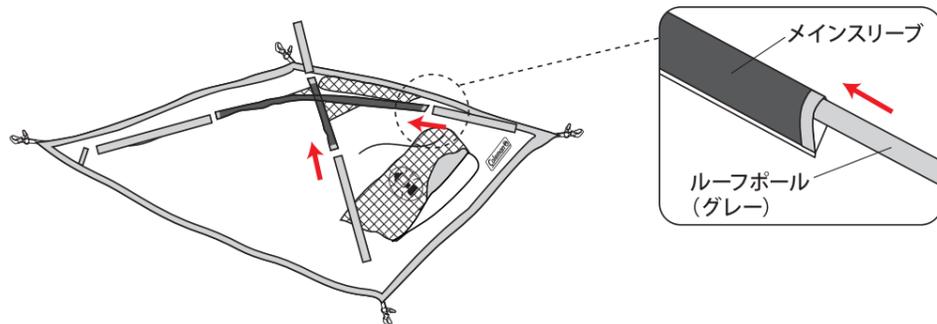


## II 屋根部分を組み立てる

**STEP 2** ルーフポール（グレー）2本を伸ばします。

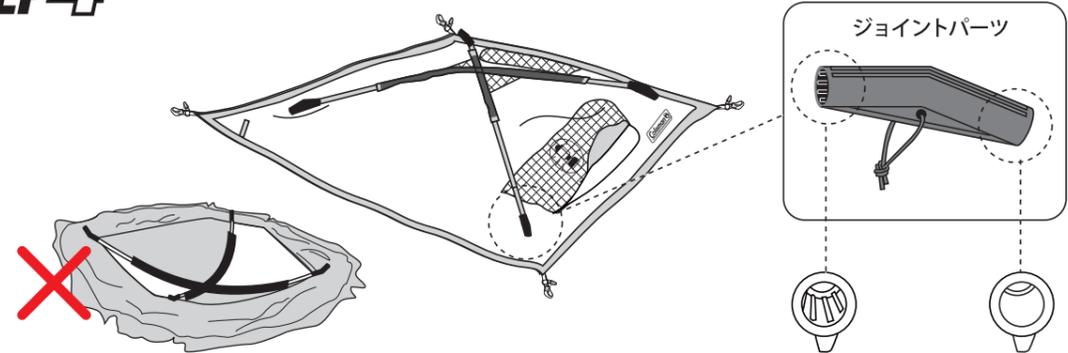
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 3** ルーフポール（グレー）をメインスリーブ（端がグレー）に通します。



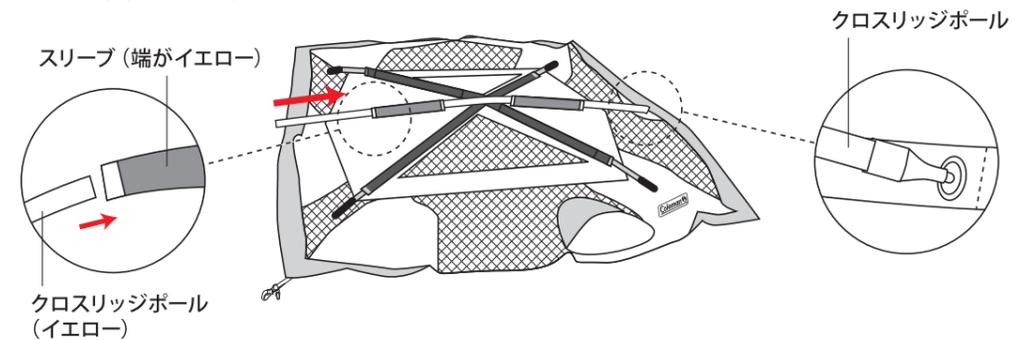
**注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

**STEP 4** ルーフポールの端をジョイントパーツに差し込み、屋根部分の完成です。



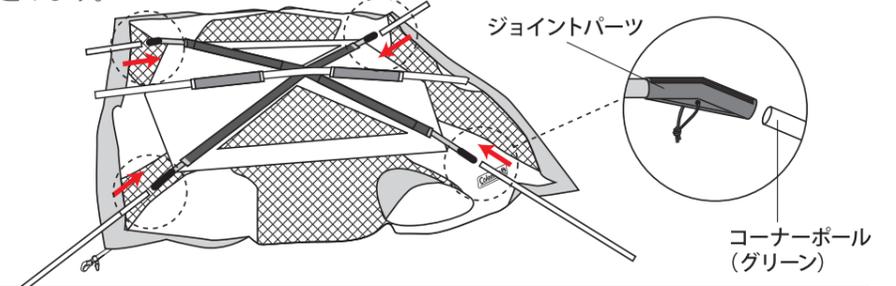
**注意** ジョイントパーツの上下の向きに注意してください。内側にギザギザの付いている方が上（ルーフポール）側です。ポールのはね返りで屋根がおわん型にならないようにしてください。ポールが折れる可能性があります。

**STEP 5** クロスリッジポール（イエロー）を伸ばして、スリーブ（端がイエロー）に通します。ポールの端をインナーテントについているテープ（イエロー）のグロメットに差し込み固定します。



## III 本体を立ち上げる

**STEP 6** コーナーポール（グリーン）4本を伸ばして、ポールの端をジョイントパーツに差し込みます。



## STEP 7

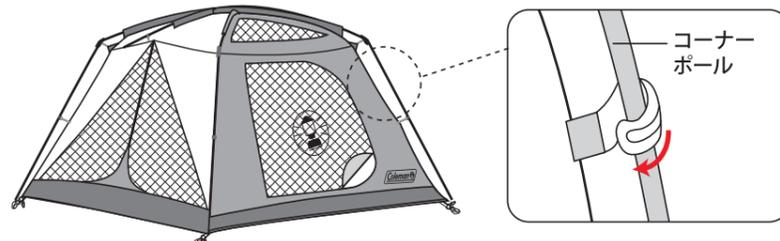
コーナーポールの端を、インナーテントのコーナーにあるループについているエンドピンに差し込み、本体を立ち上げます。フロント側の端は2つのエンドピンのうちの外側にそれぞれ差し込みます。



**注意** フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

## STEP 8

インナーテントについているフックをコーナーポールにかけ固定します。



**注意** フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

## IV 設営位置を決め固定する

### STEP 9

前後のファスナーをすべて閉めます。



**注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した際にドアが閉まらなくなることがあります。

## STEP 10

設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に (A ~ F) 対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。

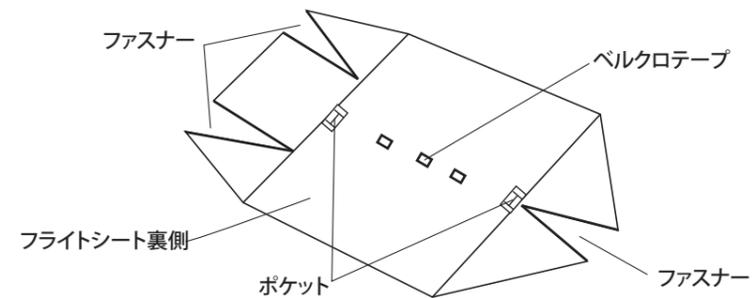


**注意** フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

## V リッジポールをセットする

### STEP 11

フライシートを広げて裏返します。

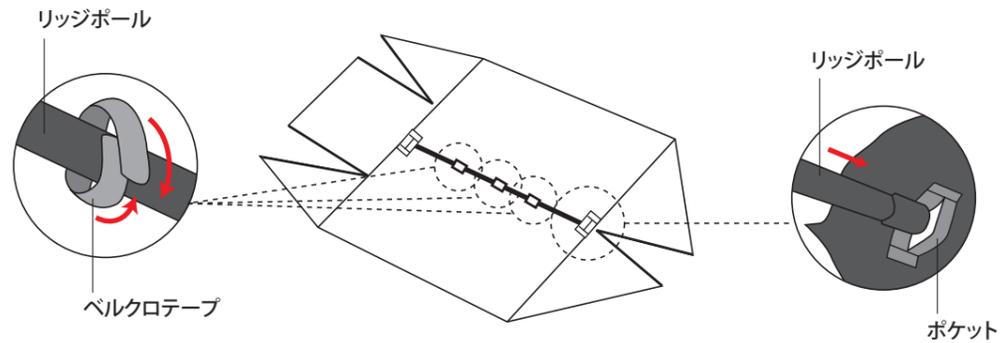


### STEP 12

リッジポール (ブラック) をのばします。

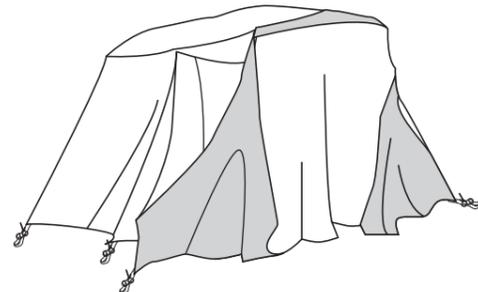
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP13** リッジポールの両端をフライシートについているポケットに差し込みます。  
リッジポールの中央部分(3ヶ所)をベルクロテープで固定します。

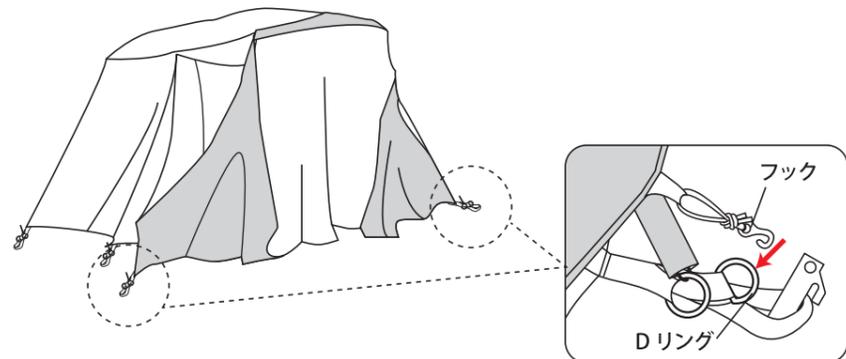


## VI フライシートをかぶせる

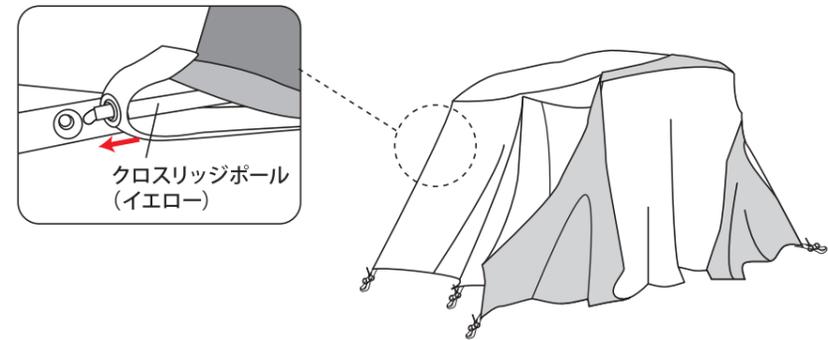
**STEP14** フライシートをかぶせます。



**STEP15** フライシートの端についているフックをインナーテントコーナーのループについているDリングにかけます。



**STEP16** フライシート内側にあるベルクロテープをそれぞれのポールにとめて固定します。  
インナーテントのクロスリッジポール(イエロー)の端にフライシートのカバーをかぶせます。



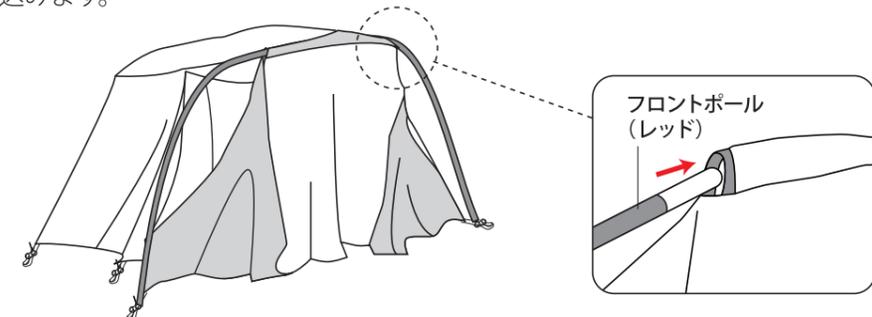
## VII フロントポールをセットする

**STEP17** フロントポール(レッド)をのばします。



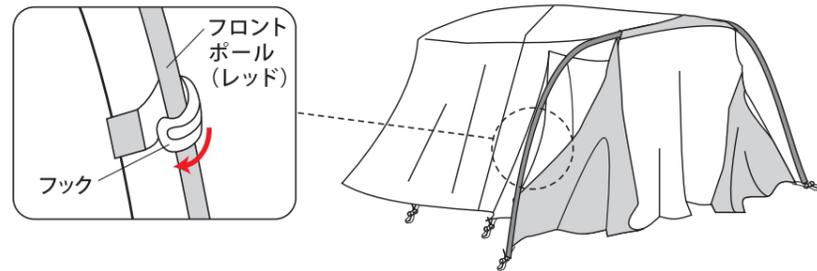
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。  
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP18** フロントポール(レッド)をフライシート外側のスリーブ(端がレッド)に通します。  
ポールの端を、インナーテントフロント側の残っているエンドピンに差し込みます。



**注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

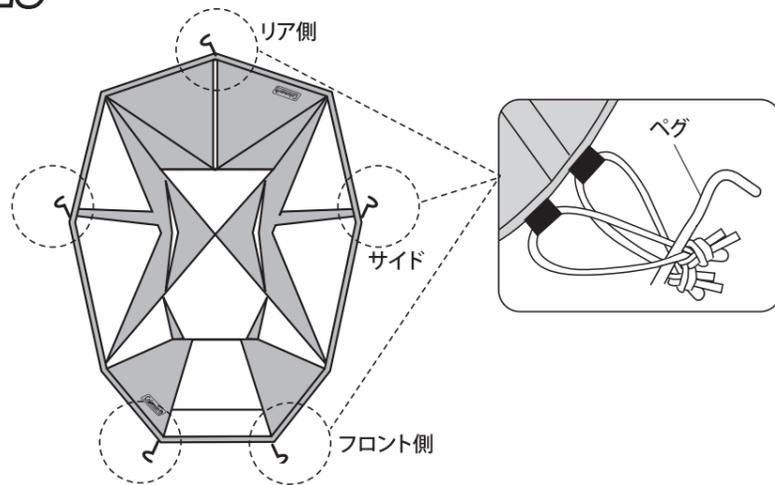
**STEP19** フライシートについているフック（テープがレッド）をフロントポールにかけ固定します。



**注意** フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

**VIII** ペグで固定する

**STEP20** フロント、リア、サイド側のループを張り出し、ペグで固定します。

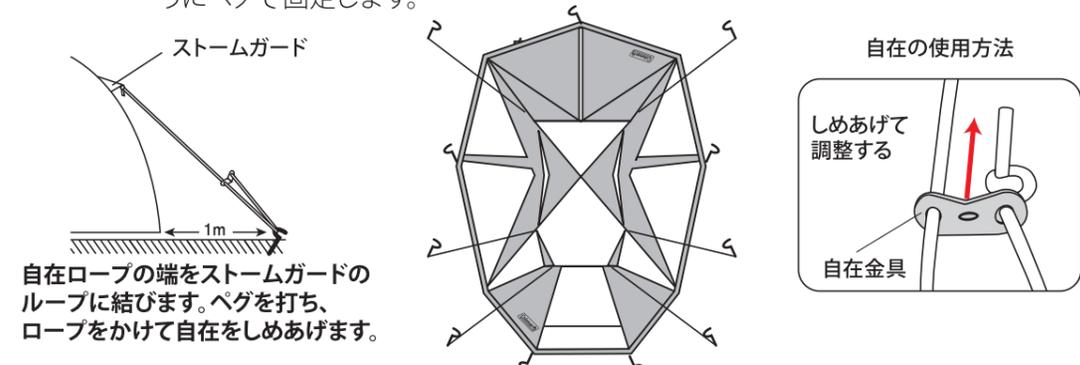


**注意** テープを引きすぎないように注意してください。ファスナーに負担がかかりフライシートが破損するおそれがあります。

**注意** ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

**IX** ロープを張り固定する

**STEP21** ストームガードシステム（ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法）により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

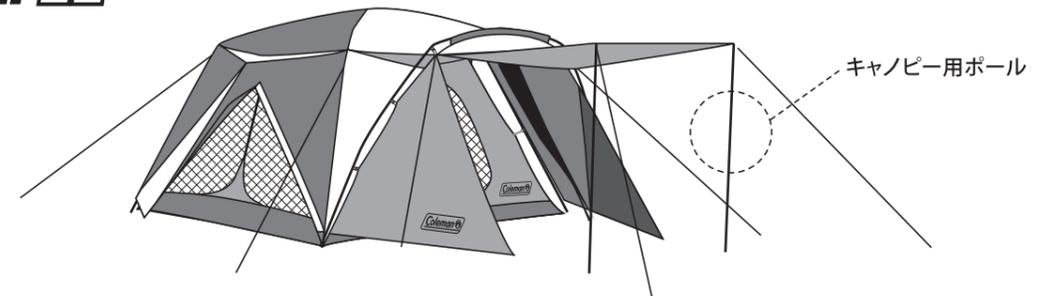


上図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないように調節してください。自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

**注意** 大きなサイズのドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

**X** キャンピアーを活用する

**STEP22** キャンピアーとして活用する場合は、付属のキャンピアー用ポールを使用します。



**注意** 雨天時にキャンピアーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めして雨水を流してください。

**注意** 風の強い時は必ずキャンピアーを閉じてください。ポールが折れる恐れがあります。